

学校評価の4点セットの取組状況

学校教育目標		【よりかしこく・よりなかよく・よりたくましく】知・徳・体バランスのとれた児童を育成する。		検証(4・5月)			改善策・修正事項等 A	担当	
教育目標実現のための喫緊の課題に対応した重点目標	重点目標に係る目指すべき子どもの姿となる達成指標	達成指標を達成するまたは近づくための重点的取組	重点的取組に係る具体的な取組指標	(4→1points)	人	points			
進んで勉強する子	○中津市学力調査(12月)で、各学年の正答率を、目標値より10ポイント以上上回るようにする(単元末テストで目標値を超える児童を80%以上にする)	○問題解決的な授業で、自分の考えを書かせた上で、話し合いが深まる手だてを工夫する	①話し合いを深めることができたかを単元ごとにチェックシートに記入する	できている	0	1.6	1年生はまだ入学後まもないので、話し合いというところまでいっていない 「○○があります。」「○○しています。」などの敬体の文章で話すなどの練習をしている 人の話をなかなか聞けない子どもが多いので、話す人の方に体を向けて聞かせたり聞いている 算数「くり上がりのある足し算、繰り下がりのある引き算」では、自分の考えを書画カメラで写して全体で交流することで自分の考えと比較したり、友だちの考えを聞き、意見の交流ができた 学級開きや運動会時期であり、話し合いを深める授業を組むことは難しかった ※1年生が一緒に勉強するので、落ちついて学習ができるような雰囲気づくりに取り組んでいる ※基礎的な学習・・・本読みとその読解・漢字・言葉の学習・日記 ※算数の教科書に沿っての学習・計算問題・プリント問題	チェックシートの項目については検討していく→研究主任 単元で「何をするのか」「どんなことができるようにさせるのか」など、つけたい力をはっきりさせて授業をすることが重要である 操作活動は大切であり、今後も書画カメラ・タブレットなどのICT機器を有効的に使用していく MKタイムで、どの児童も理解できるような発表のさせ方・意見の広め方をさせていく必要がある JKタイムではヒントカード等を用いるとよい	研究主任・教務主任
				ややできている	0				
				あまりできていない	3				
できていない	3								
進んで勉強する子	○「ゆきちタイム」で、計算問題・言語問題・活用問題を実施する	②5分以内に90%以上の子供が問題を終わらせる	できている	1	2.7	運動会期間中であるので、取組がじゅうぶんではない まだ、1年生の復習なので大体の児童が5分以内に解答している 問題によっては、5分間で最後までたどりつかない子どもが見られた ※連絡帳に、なるべく漢字やカタカナを使って書く ※毎日、一行日記を書く(自分で話題を見つけるように、声をかける) ※M…できるときは3年がしているゆきちタイムのプリント。H…連絡帳を書く ※できないときは、算数などの計算プリント	ゆきちタイムの開始時間についての共通理解をしていく 内容について、今後精査していく 取組は継続していく		
			ややできている	3					
			あまりできていない	1					
できていない	1								
進んで勉強する子	○家庭学習でめあてを持った「自学」を実施する	③やり方を確認し、90%以上の児童が提出できるように声かけをする	できている	3	2.8	運動会終了後、子どもに十分理解させて取り組ませたい 自学カードの取組が不十分だった 個人で目当てを立てて、時々忘れることはあるもののほとんどの子どもが提出できている 内容は指導の必要がある。 ※毎日の宿題①国語プリント②算数プリント③音読(お家の人に聞いてもらって、サインをもらう)をしている ※漢字・算数プリント	めあてをどのレベルにするのか共通理解が必要→研修主任 6年生の自学ノートヒントに全体で研修をする コメントをしっかりと書いて具体的に褒め、具体的なアドバイスをしていく 自学の中身について、「何がよかったのか」教師側の評価の視点をはっきりさせる		
			ややできている	1					
			あまりできていない	0					
できていない	2								
自他を大切にしている子	○生活アンケートで、「お互いに気持ちのよい言葉づかいや声かけをする」と「一緒に過ごせる友だちがいる」と、答える児童を80%以上にする	○マナーアップ運動に取り組む	①「ろうかの右側通行運動」を実施する。毎日教職員は児童に声かけをする	できている	8	3.8	教室移動では、隣の人を意識して並んで歩く・話をしないの2点について気をつける 特に給食当番とコンテナ室に行く時と帰る時は何度も声をかけている 運動会の練習で時間を守ることを第一に考えているあまり、走って移動する児童がいる 気がついた時には、声をかけるようにしている 階段が危険なので、手すりを持って右側を歩くように声をかける 保健室前のギャラリーや廊下、児童昇降口などで、声をかける 運動会シーズンになって走る子が増えたので、必ず声かけをしている	どの児童も右側通行ができ、達成できたと考えられる 「校長室付近は話をせずに歩く」など、TPOに応じた歩き方も必要である 児童会と連携して次のめあてを決める→生徒指導 子どもの言葉づかいが気になる(優しい言葉づかい・TPOの応じた言葉づかいなど)	生徒指導主任
				ややできている	2				
				あまりできていない	0				
できていない	0								
自他を大切にしている子	○アンケートで「生活や健康に気をつけよう」と答える児童を80%以上にする	○友だちへのいいたこさがし運動に取り組む	②毎日帰りの会で友だちとの関わりでうれしかったことや友だちのがんばりを「言いたい人+日直」が発表する。1ヶ月で1日1回は必ず発表する	できている	2	3	日直の中に言えていない子どもが少しいる 発表内容の良いモデルを提示することで、内容が少し良くなった 日直は進んで発表することができるが、言いたい人は固定されている また、内容も画一的なことばかり言う子どもが相当数見られる	今度も継続して取り組んでいく 児童会と連携して「思いやりの木」の取組に発展させる	
				ややできている	2				
				あまりできていない	2				
できていない	0								
元気に遊ぶ子	○アンケートで「体を動かすことが好き」と答えた児童を80%以上にする	○学校全体で、体育時間にサーキットタイムを設ける	①体育時間に主運動に応じたサーキット種目を2種目以上取り入れる(走る・握る・ラダーなど)	できている	2	2.7	運動会の練習中なのでできていない 運動会の練習がメインになっている 運動会練習が主で、サーキットトレーニングを計画的に行っていない	取組は継続していく 来月は、「走る」「投げる」を中心に体力アップを図る 困りがあれば体育主任がアドバイスをしていく	
				ややできている	0				
				あまりできていない	2				
できていない	2								
元気に遊ぶ子	○アンケートで「自分の生活や健康に気をつけよう」と答える児童が70%以上にする	○健康教育の取り組み	②サーキット例を月1回体育部で紹介する	できている	1	2.5	あまり知らないでの、いろいろなサーキット例を研修したい 5・6年生では組み体操に有効なサーキット運動を取り入れた	今後も子どもの体力向上にむけ、体育主任を中心に実施・交流していく	
				ややできている	0				
				あまりできていない	0				
できていない	1								
元気に遊ぶ子	○健康教育の取り組み	③保健集会・体育集会を学期に一回程度行う	できている	0	1.3	運動会後に実施していく 6月に体育集会をする	取組を継続していく 6月の体育集会はプールに関わる集会を行う		
			ややできている	0					
			あまりできていない	1					
できていない	2								